

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・前期・B群
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 土木工学科
比較文化概論A (Comparative Culture A)	担当教員	坂元 真理子 (Sakamoto, Mariko)
	教員室	図書棟2階 (Tel. 42-9067)
	E-Mail	sakamoto@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 選択単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 18回	
〔本科目の目標〕グローバルな視点に立ち、また相手の立場に立ってものを考えることができる技術者を目指すために、自文化と異文化について理解し、異文化を受け入れるために必要な知識と心を養う。		
〔本科目の位置付け〕 比較文化概論Aと並行で開設される。		
〔学習上の留意点〕 受講者には毎回小レポートを提出してもらう予定。 国内外の文化や習慣、歴史に興味関心を持って受講することが好ましい。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 文化とは	4	文化の定義について理解することができる。
2. 異文化とは	6	異文化の定義と異文化体験の背景について理解することができる。 異文化と接触する事にまつわる事柄と、その対応パターンについて理解することができる。
3. 国際的異文化との接触	6	国際的な異文化体験の様々な背景について理解することができる。 国際的異文化接触に際し、その変容、葛藤等について理解することができる。
--- 前期中間試験 ---	2	授業項目 1-3 について達成度を確認する。
4. 国内的異文化との接触	4	国内での異文化体験の様々な背景について理解することができる。 国内での異文化接触に際し、その変容、葛藤等について理解することができる。
5. 多文化を生きる	6	多文化社会という概念について理解することができる。 異文化理解について、多文化社会の視点から考えることができる。
6. 「自由選択型社会」を生きる	6	自由選択型社会という概念について理解することができる。 異文化理解について、自由選択型社会の視点から考えることができる。
7. 異文化を生きる	2	社会の中の異文化と向き合う際の視点について考えをまとめることができる。
--- 前期期末試験 ---		授業項目 1-6 について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解できる。
〔教科書〕適宜プリントを配布する		
〔参考書・補助教材〕適宜プリントを配布する		
〔成績評価の基準〕[定期試験成績 (70%) + レポート成績 (30%)] - [授業態度 (上限20%)]		
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 4-b		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 1-1 4-3		
〔JABEEとの関連〕 (a), (f)		